

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和3年11月10日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 秋田県公安委員会関係手数料徴収条例の一部を改正する条例案の提出について
- ・ 警護に伴う警察職員の特別派遣について
- ・ 審査請求に係る反論書及び口頭意見陳述申立書の受理について
- ・ 審査請求に係る口頭意見陳述の実施について
- ・ 審査請求に係る審理経過調書について
- ・ 運転免許の取消処分について

2 審議事項

- ・ 案件なし

3 報告事項

(1) 令和3年10月中の苦情の取扱いについて

県警察から、令和3年10月中の苦情の取扱いに関する報告があった。

苦情受理件数は、4件（公安委員会宛て2件、警察宛て2件）であり内訳は、警察の対応に関するもの、警察官の勤務態度に関するもの、留置管理業務に関するもの、パトカーの走行に関するものとのことであった。

委員から、『言動には十分注意し、職務執行していただきたい。』との発言があった。

(2) 第28回「秋田県民の警察官」受賞者の決定について

県警察から、第28回「秋田県民の警察官」受賞者の決定に関する報告があった。

秋田テレビが主催する「秋田県民の警察官」に警察官2人が決定し、11月30日、秋田市内のホテルで受賞式が開催されるとのことであった。

委員から、『お祝い申し上げる。今後とも後進の指導等に尽力願う。』との発言があった。

(3) 出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律違反被疑者の逮捕について

県警察から、出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律違反被疑者の逮捕に関する報告があった。

生活環境課、秋田中央警察署、由利本荘警察署は、法令で定められている免許・許可・登録等を受けずに、令和2年9月ころから同年12月ころまでの間、秋田県内居住の男性ほか3名に対し、元本を保証するとともに配当を支払うことを約束して、現金合計850万を口座に入金させ、業として預り金をしたとして、静岡県静岡市に居住する会社役員の男性（24歳）と住居不定で無職の男性（24歳）を通常逮捕したとのことであった。

委員から、『被害者の特定等、適切に捜査を進めてもらいたい。』との発言があった。

(4) 令和3年度地域警察官等による現場鑑識競技会の開催について

県警察から、令和3年度地域警察官等による現場鑑識競技会の開催に関する報告があった。

鑑識課では、11月11日、警察学校において地域警察官等の現場鑑識活動及び似顔絵作成の技能向上、底辺拡大のために現場鑑識競技会を開催するとのことであった。

委員から、『この機会に技術の向上を図っていただきたい。』との発言があった。

(5) 横断歩行者の交通事故防止対策「歩行者ファースト」の推進状況について

県警察から、横断歩行者の交通事故防止対策「歩行者ファースト」の推進状況に関する報告があった。

J A F秋田支部の調査結果によると、当県における歩行者が横断しようとしている際の車両の一時停止率は46.9%であり、昨年21.8%から大幅に向上した。引き続き、「歩行者ファースト」の普及・浸透に向けて運転者及び歩行者双方に対する交通安全教育や広報啓発のほか、横断歩行者妨害違反に対する的確な指導取締り、交通安全施設の整備等を総合的かつ継続的に推進していくとのことであった。

委員から、『引き続き対応願う。』との発言があった。

(6) 通学路合同点検の実施結果について

県警察から、通学路合同点検の実施結果に関する報告があった。

本年6月、千葉県八街市で発生した児童5人死傷交通事故を受け、各市町村教育委員会、道路管理者等との合同点検を実施した結果、警察に要望のあった対策必要箇所は96か所、押ボタン式信号機や横断歩道の設置など120対策であり、計画的に対策を実施するとのことであった。

委員から、『子供の安全のため遺漏がないよう対応願う。』との発言があった。

(7) 道路交通法違反(妨害運転)被疑者の検挙について

県警察から、道路交通法違反(妨害運転)被疑者の検挙に関する報告があった。

北秋田警察署は、9月1日、北秋田市栄地内の国道105号において、先行する60代男性運転の軽四輪乗用自動車の通行を妨害したとして、11月11日、大館市に居住する会社員の男性(40代)を秋田地方検察庁に送致予定であるとのことであった。

委員から、『このような事案があると怖く感じる。引き続き取締まり等対応願う。』との発言があった。

(8) 「津波防災の日」に伴う災害警備訓練等の実施結果について

県警察から、「津波防災の日」に伴う災害警備訓練等の実施結果に関する報告があった。

11月5日、警察本部及び各警察署において、大規模災害発生時の初動対応に万全を期すため、自主参集、災害警備本部設置訓練等を実施したとのことであった。

委員から、『訓練は非常に大事である。有事のため繰り返し訓練を実施していただきたい。』との発言があった。